

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
130113	X-11/31-A-1-130113			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	× × × 基礎 基礎 基礎 基礎	× × × 必修 必修 必修 必修	× × × 1年 1年 1年 1年
授業科目	担当教員	1	前期				
英語 1C (Grammar1) P	田中 敦						

授業目的

グローバル化と多文化共生が進む現代社会においては、国際理解とコミュニケーションに必要な手段として、英語を読む、書く、聞く、話す能力が社会人に必要なものとして求められている。そして、これら4技能の基礎となるのが語彙と文法である。
この授業では、意味を理解するうえで文法が果たす役割を確認するとともに、基本的な英文法の学習を通して英語運用能力の基礎を身につけることを目的とする。

各回の授業内容

第1回	ガイダンス、Unit 1 「英語の基本語順を見てみよう」 【前・後】【予習2時間、復習2時間】事前に教科書を読み、不明な箇所を確認する。授業後は学習内容の定着を図る。	第9回	Unit 7 「現在形は習慣、今、起こっていることは現在進行形」 【前・後】【予習2時間、復習2時間】事前に教科書を読み、不明な箇所を確認する。授業後は学習内容の定着を図る。
第2回	Unit 1 「英語の基本語順を見てみよう」 【前・後】【予習2時間、復習2時間】事前に教科書を読み、不明な箇所を確認する。授業後は学習内容の定着を図る。	第10回	Unit 8 「現在から切り離された時：過去形」 【前・後】【予習2時間、復習2時間】事前に教科書を読み、不明な箇所を確認する。授業後は学習内容の定着を図る。
第3回	Unit 2 「自動詞と他動詞、どう見分ける？」 【前・後】【予習2時間、復習2時間】事前に教科書を読み、不明な箇所を確認する。授業後は学習内容の定着を図る。	第11回	Unit 9 「出来事を時間の流れでとらえよう：完了形」 【前・後】【予習2時間、復習2時間】事前に教科書を読み、不明な箇所を確認する。授業後は学習内容の定着を図る。
第4回	Unit 3 「人もモノも目的語：二重目的語」 【前・後】【予習2時間、復習2時間】事前に教科書を読み、不明な箇所を確認する。授業後は学習内容の定着を図る。	第12回	Unit 10 「その場で決めたら will、計画したら be going to」 【前・後】【予習2時間、復習2時間】事前に教科書を読み、不明な箇所を確認する。授業後は学習内容の定着を図る。
第5回	Unit 4 「補語が目的語を説明する：補語」 【前・後】【予習2時間、復習2時間】事前に教科書を読み、不明な箇所を確認する。授業後は学習内容の定着を図る。	第13回	Unit 11 「助動詞で動詞の意味は変幻自在」 【前・後】【予習2時間、復習2時間】事前に教科書を読み、不明な箇所を確認する。授業後は学習内容の定着を図る。
第6回	Unit 5 「文頭に特徴あり：疑問文」 【前・後】【予習2時間、復習2時間】事前に教科書を読み、不明な箇所を確認する。授業後は学習内容の定着を図る。	第14回	Unit 12 「数えられる名詞と数えられない名詞」 【前・後】【予習2時間、復習2時間】事前に教科書を読み、不明な箇所を確認する。授業後は学習内容の定着を図る。
第7回	Unit 6 「NOTだけが否定とは限らない」 【前・後】【予習2時間、復習2時間】事前に教科書を読み、不明な箇所を確認する。授業後は学習内容の定着を図る。	第15回	Unit 12 「数えられる名詞と数えられない名詞」 【前・後】【予習2時間、復習2時間】事前に教科書を読み、不明な箇所を確認する。授業後は学習内容の定着を図る。
第8回	中間試験 【前・後】【事前学習2時間】試験範囲の学習内容を再確認する。	第16回	期末試験 【前・後】【事前学習2時間】試験範囲の学習内容を再確認する。

成績評価方法

定期試験の成績を50%の割合で成績に反映します。
また、定期試験の他に小テストを4回行い、各回10%の割合で成績に反映します。
さらに、全学共通のVELCテストのスコアを10%の割合で成績に反映します。
なお小テストは採点して返却し、次回の授業時に解説を行います。

教科書・参考書

本多吉彦／土屋武久著, College Grammar Pathfinder (基本文法から始める大学英語), 金星堂 受講に当たっての留意事項

授業には毎回必ず辞書（電子辞書も可）を持参してください。通信機能付き端末（スマートフォン等）の使用は不可とします。
また、各回の授業内容を確認のうえ、必ず予習をして授業に参加してください。授業内容はシラバスと前後する可能性があるため、予習箇所については、授業中にも詳しく指示します。
なお、小テストは学期中に4回実施予定します。すべての回を受けてください。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		○

学習到達目標

中学・高校まで学んだ英文法を再学習することにより、英語運用のための基礎知識が身に付く
JABEE

関連する学習・教育到達目標：B

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
130113	X-11/31-A-1-130113			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	× × × 基礎 基礎 基礎 基礎	× × × 必修 必修 必修 必修	× × × 1年 1年 1年 1年
授業科目	担当教員	1	前期				
英語 1C (Grammar1) Q	本間 多香子						

授業目的

グローバルなネットワーク社会で活躍するための、国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎を養うため、文法をしっかり学習する。「単語の意味さえ分かれば英語は通じる」と言う学生もいるが、実際のところは単語を羅列しただけでは通じないことが多い。また、英語の基本的な文の組み立て方を無視して単語の意味だけを拾っていくという英語の読み方をする学生も多いが、それでは最低限の理解にすらたどり着かない。この授業では英語を読む・書く・聞く・話すの基本となる、基礎的な英文法の習得を目指す。語彙だけでなく文法も、意味をつかむ上でも意味を伝える上でも重要なものであることを忘れないでほしい。

各回の授業内容

第1回	第9回
【授】 "ガイダンス Unit 1 英語の基本語順を見てみよう 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。	【授】 Unit 7 現在は習慣、今、おこっていることは現在進行形 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。
第2回	第10回
【授】 Unit 1 英語の基本語順を見てみよう 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。	【授】 Unit 8 現在から切り離された時：過去形 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。
第3回	第11回
【授】 Unit 2 自動詞と他動詞、どう見分ける？ 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。	【授】 Unit 9 出来事を時間の流れでとらえよう：完了形 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。
第4回	第12回
【授】 Unit 3 人もモノも目的語：二重目的語 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。	【授】 Unit 10 その場で決めたら will、計画したら be going to 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。
第5回	第13回
【授】 Unit 4 補語が目的語を説明する：補語 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。	【授】 Unit 11 助動詞で動詞の意味は変幻自在 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。
第6回	第14回
【授】 Unit 5 文頭に特徴あり：疑問文 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。	【授】 Unit 12 数えられる名詞と数えられない名詞 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。
第7回	第15回
【授】 Unit 6 NOT だけが否定とは限らない 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。	【授】 Unit 12 数えられる名詞と数えられない名詞 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。
第8回	第16回
【授】 中間試験 【前・後】 復習 1 時間。事前に試験範囲を熟読し、理解不明箇所を再学習し、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。	【授】 期末試験 【前・後】 復習 1 時間。事前に試験範囲を熟読し、試験後不明箇所を再学習し理解に努める。

成績評価方法

中間試験 25%、期末試験 25%、小テスト 30%、VELC テストの結果 10%、授業への取り組み度 10% で評価する。
小テストを採点して返却し、解説を行います。

教科書・参考書

本多吉彦／土屋武久 著 College Grammar Pathfinder 基本文法から始める大学英語 (金星堂)

受講に当たっての留意事項

言うまでもなく授業中の私語は厳禁です。授業では学ぶことが多いので、集中力をもって授業に臨んで下さい。小テストを計 4 回実施する予定です。必ず受けるようにして下さい。欠席 5 回以上で定期試験受験資格を失うので欠席には十分注意すること。

実務経験のある教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施
×		○

学習到達目標

中学、高校まで学んだ英文法を再学習することにより、英文法の基礎的知識の習得を目指します。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：B

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
130113	X-11/31-A-1-130113			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	× × × 基礎 基礎 基礎 基礎	× × × 必修 必修 必修 必修	× × × 1年 1年 1年 1年
授業科目	担当教員	1	前期				
英語 1C (Grammar1) R1	秋 孝道						

授業目的

国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎を固める。「単語の意味さえ分かれば英語は通じる」と言う学生もいるが、実際のところは単語を羅列しただけでは通じないことが多い。また、英語の基本的な文の組み立て方を無視して単語の意味だけを拾っていくという英語の読み方をする学生も多いが、それでは最低限の理解にすらたどり着かない。この授業では英語を読む・書く・聞く・話すの基本となる、基礎的な英文法の習得を目指す。語彙だけでなく文法も、意味をつかむ上でも意味を伝える上でも重要なものであることを忘れないでほしい。

各回の授業内容

第1回	【授】 ガイダンス Unit 1 英語の基本語順を見てみよう 【前・後】 授業後その箇所の理解に努める。【必要時間：1時間】	第9回	【授】 Unit 7 現在形は習慣、今、起こっていることは現在進行形 【前・後】 事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。【必要時間：1時間】
第2回	【授】 Unit 1 英語の基本語順をみてみよう 【前・後】 事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。【必要時間：1時間】	第10回	【授】 Unit 8 現在から切り離された時：過去形 【前・後】 事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。【必要時間：1時間】
第3回	【授】 Unit 2 自動詞と他動詞、どう見分ける？ 【前・後】 事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。【必要時間：1時間】	第11回	【授】 Unit 9 出来事を時間の流れでとらえよう：完了形 【前・後】 事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。【必要時間：1時間】
第4回	【授】 Unit 3 人もモノも目的語：二重目的語 【前・後】 事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。【必要時間：1時間】	第12回	【授】 Unit 10 その場で決めたら will、計画したら be going to 【前・後】 事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。【必要時間：1時間】
第5回	【授】 Unit 4 補語が目的語を説明する：補語 【前・後】 事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。【必要時間：1時間】	第13回	【授】 Unit 11 助動詞で動詞の意味は変幻自在 【前・後】 事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。【必要時間：1時間】
第6回	【授】 Unit 5 文頭に特徴あり：疑問文 【前・後】 事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。【必要時間：1時間】	第14回	【授】 Unit 12 教えられる名詞と教えられない名詞 【前・後】 事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。
第7回	【授】 Unit 6 NOTだけが否定とは限らない 【前・後】 事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。【必要時間：1時間】	第15回	【授】 課題・レポートで代替 14回までの授業内容から出題する。 【前・後】 事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。【必要時間：1時間】
第8回	【授】 中間試験 【前・後】 事前に試験範囲を熟読し、試験後理解不明箇所を再学習し、理解に努める。【必要時間：1時間】	第16回	【授】 期末試験 【前・後】 事前に試験範囲を熟読し、試験後理解不明箇所を再学習し、理解に努める。【必要時間：1時間】

成績評価方法

期末試験の他に中間試験と小テスト・課題レポートを実施します。全体の評価は中間試験40%+期末試験40%+小テスト・課題レポート10%+VELCテスト10%＝100%となります。小テストの解説を行います。試験の解答例を公表し、評価について公表します。

教科書・参考書

本多吉彦／土屋武久 著 College Grammar Pathfinder 基本文法から始める大学英語（金星堂）

受講に当たっての留意事項

言うまでもなく授業中の私語は厳禁です。授業では学ぶことが多いので、集中力をもって授業に臨んで下さい。欠席5回以上で定期試験受験資格を失うので欠席には十分注意すること。学生の理解度などにより、シラバス通りの順序ではなく、変更が生じることがあります。

実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		○

学習到達目標

中学、高校まで学んだ英文法を再学習することにより、英文法の基礎的知識の習得を目指します。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：B

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
130113	X-11/31-A-1-130113			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	× × × 基礎 基礎 基礎 基礎	× × × 必修 必修 必修 必修	× × × 1年 1年 1年 1年
授業科目	担当教員	1	前期				
英語 1C (Grammar1) R2	土橋 善仁						

授業目的

国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎を固める。「単語の意味さえ分かれば英語は通じる」と言う学生もいるが、実際のところは單語を羅列しただけでは通じないことが多い。また、英語の基本的な文の組み立て方を無視して単語の意味だけを拾っていくという英語の読み方をする学生も多いが、それでは最低限の理解にすらたどり着かない。この授業では英語を読む・書く・聞く・話すの基本となる、基礎的な英文法の習得を目指す。語彙だけでなく文法も、意味をつかむ上でも意味を伝える上でも重要なものであることを忘れないでほしい。

各回の授業内容

第1回 【授】 ガイダンス Unit 1 英語の基本語順を見てみよう 【前・後】授業後その箇所の理解に努める。【必要時間：1時間】	第9回 【授】 Unit 7 現在形は習慣、今、起こっていることは現在進行形 【前・後】事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。 【必要時間：1時間】
第2回 【授】 Unit 1 英語の基本語順をみてみよう 【前・後】事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。 【必要時間：1時間】	第10回 【授】 Unit 8 現在から切り離された時：過去形 【前・後】事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。 【必要時間：1時間】
第3回 【授】 Unit 2 自動詞と他動詞、どう見分ける？ 【前・後】事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。 【必要時間：1時間】	第11回 【授】 Unit 9 出来事を時間の流れでとらえよう：完了形 【前・後】事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。 【必要時間：1時間】
第4回 【授】 Unit 3 人もモノも目的語：二重目的語 【前・後】事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。 【必要時間：1時間】	第12回 【授】 Unit 10 その場で決めたら will、計画したら be going to 【前・後】事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。 【必要時間：1時間】
第5回 【授】 Unit 4 補語が目的語を説明する：補語 【前・後】事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。 【必要時間：1時間】	第13回 【授】 Unit 11 助動詞で動詞の意味は変幻自在 【前・後】事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。 【必要時間：1時間】
第6回 【授】 Unit 5 文頭に特徴あり：疑問文 【前・後】事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。 【必要時間：1時間】	第14回 【授】 課題を課す（プリントを配布し、問題を解く） 【前・後】事前に配布した課題の設問を解く。次回授業で解説をするので、授業後その箇所の理解に努める。
第7回 【授】 Unit 6 NOTだけが否定とは限らない 【前・後】事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。 【必要時間：1時間】	第15回 【授】 Unit 12 数えられる名詞と数えられない名詞 【前・後】事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。 【必要時間：1時間】
第8回 【授】 中間試験 【前・後】事前に試験範囲を熟読し、試験後理解不明箇所を再学習し、理解に努める。【必要時間：1時間】	第16回 【授】 期末試験 【前・後】事前に試験範囲を熟読し、試験後理解不明箇所を再学習し、理解に努める。【必要時間：1時間】

成績評価方法

期末試験と中間試験を実施します。全体の評価は中間試験 45% + 期末試験 45% + VELC テスト 10% = 100% となります。試験の解答例を公表し、評価について公表します。

教科書・参考書

本多吉彦／土屋武久 著 College Grammar Pathfinder 基本文法から始める大学英語（金星堂）

受講に当たっての留意事項

言うまでもなく授業中の私語は厳禁です。授業では学ぶことが多いので、集中力をもって授業に臨んで下さい。欠席 5 回以上で定期試験受験資格を失うので欠席には十分注意すること。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施
×		○

学習到達目標

中学、高校まで学んだ英文法を再学習することにより、英文法の基礎的知識の習得を目指します。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：B

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
130113	X-11/31-A-1-130113			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	× × × 基礎 基礎 基礎 基礎	× × × 必修 必修 必修 必修	× × × 1年 1年 1年 1年
授業科目	担当教員	1	前期				
英語 1C (Grammar1) R3	山崎 祥子						

授業目的

「単語の意味さえ分かれば英語は通じる」と言う学生もいるが、実際のところは単語を羅列しただけでは通じないことが多い。また、英語の基本的な文の組み立て方を無視して単語の意味だけを拾っていくという英語の読み方をする学生も多いが、それでは最低限の理解にすらたどり着かない。この授業では英語を読む・書く・聞く・話すの基本となる、基礎的な英文法の習得を目指す。語彙だけでなく文法も、意味をつかむ上でも意味を伝える上でも重要なものであることを忘れないでほしい。英語を読み、聞き、話し、書くための基礎となる文法事項を学習し、コミュニケーションに役立つ英語力を身につける。あわせて、教科書の付属 CD や、日常生活を場面ごとに取り上げる DVD 教材を活用しながらリスニング能力の向上もを目指す。本学部のディプロマポリシーである「グローバルなネットワーク社会で活躍するための、国際社会とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること」という卒業までに達成すべき学習基本目標を念頭におきながら英語を学ぶ。

各回の授業内容

第1回	【授】 オリエンテーション：教材の特徴・意義と使用方法、授業の進め方、評価方法などについて + Unit 1 英語の基本語順を見てみよう 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習した内容を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。	第9回	【授】 Unit 7 現在形は習慣、今、起こっていることは現在進行形 + DVD教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。
第2回	【授】 Unit 1 英語の基本語順をみてみよう + DVD教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。	第10回	【授】 Unit 8 現在から切り離された時：過去 + DVD教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。
第3回	【授】 Unit 2 自動詞と他動詞、どう見分ける？ + DVD教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。	第11回	【授】 Unit 9 出来事を時間の流れでとらえよう：完了形 + DVD教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。
第4回	【授】 Unit 3 人もモノも目的語：二重目的語 + DVD教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。	第12回	【授】 Unit 10 その場で決めたら will、計画したら be going to + DVD教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。
第5回	【授】 Unit 4 補語が目的語を説明する：補語 + DVD教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。	第13回	【授】 Unit 11 助動詞で動詞の意味は変幻自在 + DVD教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。
第6回	【授】 Unit 5 文頭に特徴あり：疑問文 + DVD教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。	第14回	【授】 Unit 12 教えられる名詞と教えられない名詞 + DVD教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。
第7回	【授】 Unit 6 NOT だけが否定とは限らない + DVD教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。	第15回	【授】 課題で代替 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。辞書・文法書などを用いて課題に取り組み、不明点を解説すること。
第8回	【授】 中間試験 【前・後】 【予習復習に4時間】事前に試験範囲を熟読し、試験後は理解不明箇所を再学習し、理解に努める。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。	第16回	【授】 期末試験とその他 【前・後】 【予習復習に4時間】事前に試験範囲を熟読し、試験後は理解不明箇所を再学習し、理解に努める。

成績評価方法

【成績評価】定期試験（期末試験）の他に小テスト、その他（中間試験と VELC テスト）を実施します。全体の評価は中間試験 25%+期末試験 25%+小テスト 40%+VELC テスト 10% = 100% となります。自発的発表報告は内容に応じて加点評価します。
【フィードバックの方法】発表内容にはコメントによるフィードバックを与え、小テスト、中間試験は点数分布を授業で公表し、全体の講評をすることで学習内容の理解を深めます。

教科書・参考書

本多吉彦、土屋武久著、College Grammar Pathfinder (『基本文法から始める大学英語』)、金星堂

受講に当たっての留意事項

英和辞典や英英辞典（電子辞書も可）を授業時に持参すること。

各回の準備学習の具体的な内容については初回授業時に指示します。月1回の割合で小テストを計4回実施します。必ず受けるようにして下さい。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		○

学習到達目標

中学、高校まで学んだ英文法を再学習することにより、英文法の基礎的知識が身に付く。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：B

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
130113	X-11/31-A-1-130113			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	× × × 基礎 基礎 基礎 基礎	× × × 必修 必修 必修 必修	× × × 1年 1年 1年 1年
授業科目	担当教員	1	前期				
英語 1C (Grammar1) R4	高橋 正平						

授業目的

グローバルなネットワーク社会で活躍するための、国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎を養うため、文法をしっかりと学習する。「単語の意味さえ分かれば英語は通じる」と言う学生もいるが、実際のところは単語を羅列しただけでは通じないことが多い。また、英語の基本的な文の組み立て方を無視して単語の意味だけを拾っていくという英語の読み方をする学生も多いが、それでは最低限の理解にすらたどり着かない。この授業では英語を読む・書く・聞く・話すの基本となる、基礎的な英文法の習得を目指す。語彙だけでなく文法も、意味をつかむ上でも意味を伝える上でも重要なものであることを忘れないでほしい。

各回の授業内容

第1回	【授】 ガイダンス Unit 1 英語の基本語順を見てみよう 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。	第9回 【授】 Unit 7 現在は習慣、今、おこっていることは現在進行形 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。
第2回	【授】 Unit 1 英語の基本語順を見てみよう 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。	第10回 【授】 Unit 8 現在から切り離された時：過去形 小テスト 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。
第3回	【授】 Unit 2 自動詞と他動詞、どう見分ける？ 小テスト 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。	第11回 【授】 Unit 9 出来事を時間の流れでとらえよう：完了形 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。
第4回	【授】 Unit 3 人もモノも目的語：二重目的語 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。	第12回 【授】 Unit 10 その場で決めたら will、計画したら be going to 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。
第5回	【授】 Unit 4 補語が目的語を説明する：補語 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。	第13回 【授】 Unit 11 助動詞で動詞の意味は変幻自在 小テスト 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。
第6回	【授】 Unit 5 文頭に特徴あり：疑問文 小テスト 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。	第14回 【授】 Unit 12 数えられる名詞と数えられない名詞 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。
第7回	【授】 Unit 6 NOT だけが否定とは限らない 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。	第15回 【授】 Unit 12 数えられる名詞と数えられない名詞 【前・後】 予習 30 分、復習 30 分。事前に学習箇所を読み、意味不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。
第8回	【授】 中間試験 【前・後】 事前に試験範囲を熟読し、理解不明箇所を再学習し、意味不明箇所を確認する。試験後その箇所の理解に努める。	第16回 【授】 期末試験 【前・後】 事前に試験範囲を熟読し、試験後不明箇所を再学習し、理解に努める。

成績評価方法

期末試験の評価は 40% です。小テストの評価は 25% で、採点して返却し、解説を行います。

中間試験 25%+VELC テストの結果 10% で評価します。

教科書・参考書

本多吉彦／土屋武久 著 College Grammar Pathfinder 基本文法から始める大学英語 (金星堂)

受講に当たっての留意事項

言うまでもなく授業中の私語は厳禁です。授業では学ぶことが多いので、集中力をもって授業に臨んで下さい。小テストを計 4 回実施する予定。必ず受けるようにして下さい。欠席 5 回以上で定期試験受験資格を失うので欠席には十分注意すること。
なお、各回の授業内容は受講生の予備知識、予習の進度により多少の変更が生じる可能性があります。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施
×		○

学習到達目標

中学、高校まで学んだ英文法を再学習することにより、英文法の基礎的知識の習得を目指します。

JABEE

関連する学習・教育到達目標： B

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習